

第4回飯山市廃棄物減量等推進審議会 議事録（議事要旨）

- 1 日 時 平成29年11月13日(月) 午後1時30分～午後2時45分
- 2 場 所 飯山市役所4階 第一委員会室
- 3 出席者 別紙名簿のとおり
- 4 資料等 別添資料等のとおり

5 次 第

- ・開会
- ・会長あいさつ
- ・審議
- (1) 答申の内容について
 - ・本編（案）について
 - ・資料編（案）について

(2) その他

6 議事要旨

(1) 答申の内容について

- ・本編（案）について

<説明（事務局）>

飯山市廃棄物減量等推進審議会答申案の本編について説明

- ・Ⅲ1（1）イの「ごみ減量推進の活動」中、「もえるごみ」の見出しに行頭文字を追加
- ・Ⅲ1（3）イの「市民意識向上のための機会づくり」の4ポイント目「分別がエコに活かされる」⇒「分別が環境問題に活かされる」に修正

(丸山会長)

- ・Ⅲ1（1）イの「ごみ減量推進の活動」は、具体的な表現となり分かりやすくなったと思います。

(南沢委員)

- ・5ページの「平成28年度 エコパーク寒川ごみ処理量実績」表は、もえるごみ3.7%増、もえないごみ△37.8%減だが、総体での評価は△0.1%減となっている。総体での評価でなく、もえるごみ、もえないごみと区分して評価してはどうでしょうか。

(事務局)

- ・前答申の目標は、もえるごみ・もえないごみの総量で10%削減するという内容でした。表では「もえるごみ」と「もえないごみ」の双方の結果も掲出してありますが、着目していただく点は全体としての結果になります。

(渡辺委員)

- ・全体の△0.1%を見て「あまり増加していない」と見るか、もえるごみを見て「もえるごみは増えてきている」という実態を見るかの違いだと思う。実態なので、私はこの表のま

までよいと思います。

(小市委員)

- ・Ⅲ 1 (3)「市民啓発の推進等」は、区長会の取り組みとしても常々必要なことと感じています。

(佐藤委員)

- ・もえないごみが減ったことは、果たしてよいことなののでしょうか。減った分、もえるごみが増えたということはありませんか。
- ・もえないごみが減ったのは、もえないごみの分別を頑張って、ガラスびんなどを資源ごみに出した結果、減ったということでしょうか。
- ・もえないごみには空き缶や空きびんも含まれると思いますが、もえないごみが減った理由として、缶やびんが使われなくなったということならよいのですが。

(事務局)

- ・もえないごみが減った要因の一つは、大型の不燃性粗大ごみが、拠点方の無料回収業者へ流れていく傾向があります。
- ・市では無料回収業者を推奨しているわけではありませんが、エコパーク寒川に持っていくと有料で処理されるものが、無料という謳い文句に惹かれて、無料回収業者へ流れて行っている傾向はかなりあると思われます。

(佐藤委員)

- ・では、何でも構わず「もえるごみ」として出してしまったから「もえないごみ」が減った、というのでは逆効果と感しましたが、それは無いということですね。

(事務局)

- ・もえないごみが減っている一因は、無料回収業者が一役買っていることもあります。

(丸山会長)

- ・無料回収業者は、集めたものは自身で処理するのですか。

(事務局)

- ・エコパーク寒川とは、一切縁がないと考えていただければと思います。
- ・何度か立入検査をしていますが、引き取った物の行き先がよく分かりません。大部分は海外という雰囲気はありますが、場合によると金目の物だけ抜き取って、あとは山奥へ不法投棄ということもあるかもしれません。
- ・市民の方から無料回収業者の利用について問い合わせがあった際は、できるだけエコパーク寒川や市の許可業者を利用するよう促していますが、不法投棄等の懸念もありますので市では推奨していない、無料回収業者の利用の最終的な判断は、ご自身でお願いしますと返答しています。

(藤田委員)

- ・皆がきちんにごみ処理をすれば、エコパーク寒川も長く使えますし、色々な環境問題にも係ることがはっきりと出されたことは、とてもよいと感じています。
- ・こういうことを文章で連ねてもらおうと、このごみ一つでもエコパーク寒川を長く利用することに繋がっていくのだと考えられるような訴えになっていると思います。

(高橋職務代理)

- ・概ね、まとめていただいているのでよいと思いますが、今後、もえるごみは増えそうな気がします。

・資料編（案）について

<説明（事務局）>

飯山市廃棄物減量等推進審議会答申案の資料編について説明

(事務局)

- ・現案に目標年次がないため、いつまでもチャレンジ 800 が続くことになってしまいます。
- ・なお、第二次飯山市環境基本計画の目標年次が平成 32 年度までとなっていますので、「Ⅲ 4 ごみの発生抑制」の最後の部分に「第二次飯山市環境基本計画が平成 32 年度までであることに鑑み、ここに示したごみ減量施策のあり方の目標年次を、平成 32 年度までとします」という雰囲気の記事を加え、この時点でもう一度見直す、とさせていただければと思います。
- ・なお、今後の予定ですが、本日の会議を踏まえて答申の内容を修正し、12 月の審議会で内容を固めたいと考えています。
- ・その後、市長に答申ということになると思いますが、当日は委員全員とするか、或いは正副会長で答申書を渡していただくか、ご検討いただきたいと思います。

(丸山会長)

- ・全員で検討したものなので、委員全員で渡した方がよいと思います。

(事務局)

- ・では、12 月で内容を固めて、1 月に全員でお渡しいただくということでしょうか。

(高橋職務代理)

- ・会長が言われるよう、全員でまとめたものなので、全員でお渡しした方がよいのでは。

(事務局)

- ・では、そのような方向でお願いします。
- ・市長の日程を確認のうえ、次回開催日に日程調整させていただきます。

(丸山会長)

- ・次回の日程は、12 月 11 日（月）午後 1 時 30 分からということをお願いします。本日はお疲れさまでした。